

科目名	世界文学としての日本文学	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			総合政策学部	□ 必修 ■ 選択
英文表記	Japanese Literature in the World	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年	
			開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中
ふりがな	はしもと しほ	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	橋元志保	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	日本の近現代文学の最高峰の作品に触れ、その普遍的な価値を理解し、批評できるようになる。			
到達目標	この授業の単位を良好な成績で修得した場合、次のような知識・能力が身につきます。 1. 日本の近代から現代にかけての文学史と主要作品を理解できるようになる。 2. ノーベル文学賞受賞者の小説・評論をはじめとする、優れた文学を読み解くことができる。 3. 小説や評論の読解力が身につく、併せて思考力、表現力も涵養することができる。			
授業概要	ゲーテが夢見た「世界文学」は、インターネット時代の到来によって、時間・空間・地域の壁が崩れ去り、現実のものとなりつつあります。それは、一方で多様な民族の言語、国民国家における国語の優位性を脅かし、世界共通語としての英語の普遍化をいっそう促進させるものです。そのような英語の世紀に、日本語・日本文学はどこまで生きのびることが出来るのでしょうか。また、日本の近代文学が、海外の文学・文化の影響を受けて成立・発展し、どのようにして海外の読者にも享受されるようになったのか、近現代の文学史を辿りながら、一緒に学んでいきましょう。			
授業計画				
第1回	ガイダンスー世界の中の日本文学ー			
第2回	外国文学の影響と近代文学の曙Ⅰー文明開化と欧米文学の受容ー			
第3回	外国文学の影響と近代文学の曙Ⅱーシェイクスピアの影響と翻訳・翻案小説ー			
第4回	海外留学と近代文学の芽生えー漱石のロンドン、鷗外のベルリンー			
第5回	夏目漱石の異文化体験ー『倫敦塔』を読むー			
第6回	夏目漱石の幻想文学ー『夢十夜』を読むー			
第7回	日本人初のノーベル文学賞受賞ー川端康成「美しい日本の私」よりー			
第8回	川端康成の描いた日本の美と自然ー『雪国』を中心にー			
第9回	三島由紀夫の文学ー日本文学の海外における受容ー			
第10回	三島由紀夫の文学ー『豊穡の海(1)春の雪』の世界観ー			
第11回	三島由紀夫の文学ー『豊穡の海(1)春の雪』における恋愛ー			
第12回	日系イギリス人のノーベル文学賞受賞ーカズオ・イシグロ 人と作品ー			
第13回	カズオ・イシグロの文学Ⅰー『わたしを離さないで』の世界観ー			
第14回	カズオ・イシグロの文学Ⅱー『わたしを離さないで』における生命観ー			
第15回	新しい世界文学に向けてー言語の可能性と村上春樹の文学ー			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. 授業で取り上げる小説や資料を、指定された頁まで必ず読んでおきましょう。難解な語句や漢字は必ず辞書でその意味を調べましょう（1時間程度）。 2. ワークシートを配布しますので、授業内容を復習しながら記述し、提出してください（1時間程度）。 3. 授業の際に紹介した小説や評論等をぜひ読みましょう（1～2時間程度）			
履修条件 受講のルール	授業中は私語を慎み、講義を良く聴き、主体的な態度で学んでください。「日本の文学」を既に履修していることが望ましいですが、必須ではありません。			
テキスト	ポータルサイトに掲示するか、資料を配布します。夏目漱石『夢十夜 他二篇』（岩波文庫）三島由紀夫			

	『豊穡の海(1) 春の雪』(新潮文庫) カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(早川書房) 他
参考文献・資料	授業時に紹介します。夏目漱石『漱石全集』第2巻(岩波書店) 川端康成『一草一花』(講談社文芸文庫) 水村美苗『増補 日本語が亡びるときー英語の世紀の中で』(筑摩書房) 他
成績評価の方法	【主体的な学びの姿勢(15%)、課題の提出(25%)、試験(60%)】を基に、総合評価をします。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	木・金曜日 14時40分～16時10分※これ以外の時間は事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	あらゆる文学賞の中でも、最も権威あるノーベル文学賞を受賞した作家の小説・エッセイを中心に講読を行います。作家や作品の世界観や特色を理解し、楽しみながら、小説を深く読み解くことができるように、様々な映像も視聴していきます。小説が好きな方、教養を身につけたい方はぜひ受講してください。